

第 1 回全分科会の意見に対する修正案等（再提案）

● 重点戦略 2 の KPI 「製造品出荷額等」の代替について

意見	修正案等
<p>市内の製造品出荷額等を増やそうとすると、新たに工場が建てられるようにしないといけないが、実際は、市外への転出が多く、新規立地も限られる印象である。</p> <p>KPI として製造品出荷額等と従業者数を設定しているが、大手企業の動向によって影響される。行政としてどう関わるのか分からない。</p>	<p>他の分科会でいただいたご意見を踏まえ、「製造品出荷額等」に代わる KPI として、全産業及び個人の生産にかかる状況を総合的に確認することができる「市内総生産」を設定し、現状値の 889,615 百万円に対し、その中間値を 972,214 百万円、目標値を 1,021,065 百万円に設定します。</p> <p>なお、市内総生産とは、「本市内で生産された財貨・サービスの売上高（産出額）から、原材料・光熱費などの経費（中間投入額）を控除したもの」のことをいい、KPI の変更と併せて用語解説に追加します。</p>

● 基本フレームの目標人口について

意見	修正案等
<p>基本構想（案）で掲げる 2042 年の目標人口（158,000 人）と基本フレームの人口（157,700 人）が異なることに違和感を持つ。基本フレームで目標人口を 158,000 人と設定することに異</p>	<p>基本構想（案）の目標人口を 157,700 人とします。</p>

意見	修正案等
<p>論はないが、推計した結果を表すグラフ中の 2042 年を 158,000 人にするのであれば、それまでの数値（2025 年～2040 年）も 158,000 人を算出した方法で表記しないとイケない。</p>	

● リカレント教育の追加について

意見	修正案等
<ul style="list-style-type: none"> ・リカレント教育は、生涯学習ではなく、分野で言うと「雇用」に当たる。就職後にキャリアアップ（転職）するために休職して技術を身に付けるチャンスを提供することと理解している。企業が多く集積する刈谷市であれば取り組んでみては良いのではと思う。 ・技術を持つ人であれば、重点戦略 2 で掲げる「魅力ある働く場」と思えるのではないか。どこにリカレント教育を入れるのかは検討いただきたい。 ・感覚的には、修正案にある重点戦略 4 の説明文中の「人生 100 年時代」には合致していると思う。大企業であれば、自社内でリスキリング、リカレント教育は行えるかもしれないが、中小企業では難しい。市民一人ひとりがセカンドキャリア、女性であれば育児（育休）明けに活躍するスキルを身に付け 	<p>原案どおり、重点戦略 4「誰もが活躍できる社会の形成」方向性 2 に位置付けます。</p> <p>リカレント教育は「いつでも学び直しができるシステム」という意味があり、その目的としては、産業振興を支える人材育成という側面と人生 100 年時代を見据えた生涯に渡る学習支援という側面があると考えています。後者の生涯学習を支える側面としては、国の教育振興基本計画に「生涯学び、活躍できる環境を整える」基本方針の下、「職業に必要な知識やスキルを生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進」の施策があり、本市としては、この生涯学習の観点からリカレント教育を推進していく考えです。また、ひいてはその施策が結果的には産業振興に結び付くものとは考えています。</p>

意見	修正案等
<p>られる場を加えると、刈谷市全体の底上げや今後の多様な働き方の形にもつながると思い、「人生 100 年時代」というキーワードとの相性は良いと感じた。</p>	